ここがすごいよ！酒井家文庫

皆さん、「酒井家文庫（市指定文化財）」をご存知ですか？

日本近世史の中でも、とても貴重な史料ですが、普段から展示・公開する施設がないため、市民の認知度は低いのが現状です。市では、この史料を通して、多くの人に、郷土の歴史に興味を持ってもらうと共に、文化財保護・活用の理解の普及を目指しています。

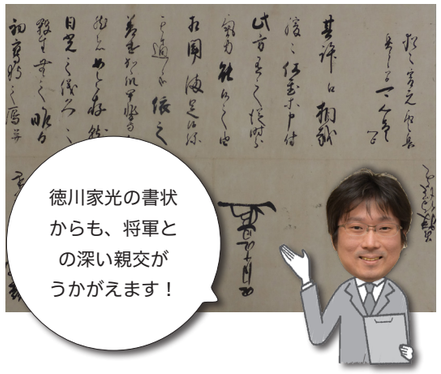
酒井家文庫とは？

酒井家文庫は、昭和16年と52年に旧藩主の酒井家より小浜市へ寄贈された史料です。史料総数は、2万6千点にのぼり、平成25年に市の文化財に指定されています。

どんな文化財があるの？

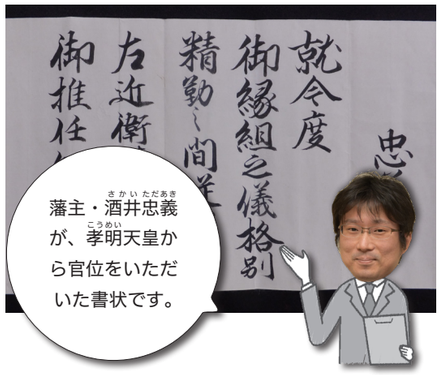
酒井家文庫には、江戸幕府3代将軍・徳川家光の書状をはじめ、将軍家からの書状や、朝鮮からの外交文書である朝鮮国書翰、幕末の和宮降嫁に関する史料もあります。また、杉田玄白の解体新書の初版本や、伴信友関連の史料など、日本の歴史を物語る貴重な文化財があります。

【3代将軍・徳川家光の書状】



【小浜城下鳥瞰図】

【従四位左近衛権少将叙任指紙】



【三浦吉信（酒井家家臣）文書の一部】

【酒井家文庫書庫】

幕末明治福井150年博で企画展
「幕末・明治を生きた若狭小浜の偉人たち」

とき　11月23日㊎㊗～29日㊍
ところ　若狭図書学習センター（南川町）
内容　酒井家文庫の公開、小浜の偉人の資料展示ほか

※酒井家文庫（一部）は職員立ち会いのもと閲覧することができます。興味のある人は文化課まで問い合わせてください

■問い合わせ　文化課☎64・6034
※解説　文化課　川股主事

クラウドファンディング　小浜の魅力を発信

市では、小浜の資源を生かした商品開発や地域の魅力を発信する事業者の新たなプロジェクトを支援しています。セキュリテの「ふるさと投資の仕組み※」を活用して、地域の活性化や地方創生の推進を目指しています。

※ミュージックセキュリティーズ株式会社（第二種金融商品取引業者）が運営する投資型クラウドファンディングのプラットフォーム

各社で運用中です！

平成28年度に組成された次の4社のファンドが、全国の投資家の皆さんから資金を募り、事業の運用を開始しています。その中で、「株式会社若狭の恵」は、募集目標金額以上の投資を集め、そのほかの事業者も多くの投資を集めました。今後も各社の事業計画に基づきプロジェクトが進められます。引き続き、皆さんの応援をお願いします。

■問い合わせ　商工観光課☎53・9705

投資された資金の一部が充てられた㈱若狭の恵の乾燥調整施設・精米所

【若狭の恵　ひまわりの里　お米ファンド】
事業者　株式会社若狭の恵
投資人数　157人

【小浜の伝統若狭塗箸フナイワークスファンド】
事業者　株式会社フナイワークス
投資人数　45人

【若狭塗箸海外販路プロジェクトファンド】
事業者　カワイ株式会社
投資人数　85人

【SABAR鯖街道よっぱらいサバファンド1】
事業者　株式会社SABAR
投資人数　335人（4月17日現在）

詳しくは、小浜市特設サイト「若狭おばまへのふるさと投資」
※下記QRコードを参照

多様な支援で中小企業をサポート

市では中小企業向けの多様な支援を実施しています。支援メニューを紹介します。

①電子決済端末導入に対する補助

電子決済端末の導入にかかる費用を補助します。

受付開始　5月1日㈫
対象者　従業員5人以下（宿泊業は20人以下）の事業者
対象業種　飲食業、宿泊業、飲食料品小売業など
補助率　2／3
限度額　8万円

②人材育成講座受講に対する補助

ふくい産業支援センター、ポリテクセンター福井が実施する人材育成講座の受講経費を補助します。

※受講料および教材費の合計が計1万円以上のものが対象

対象経費　受講料、教材費、交通費
補助率　1／2
限度額　2万円

③インターンシップ実施に対する補助

インターンシップを実施する企業に対して補助します。

対象者　製造業、先端的農商工連携施設、情報サービス業
要件　3日以上のインターンシップを実施すること、市内で宿泊すること
対象経費　宿泊費

④創業者に対する補助

市内で創業する人に対して、必要経費の一部を補助します。

対象経費　建物取得費、改装費、賃借料、販路開拓費、広告宣伝費
補助率　1／2
限度額　10～40万円

県および市の中小企業向け説明会を開催します。
とき　5月9日㈬14時～15時
ところ　小浜商工会議所（大手町）
※参加を希望する人は商工観光課☎53・9705まで